

ウミガメさん帰ってきよ

林崎海岸

絶滅危惧種に指定されているアカウミガメの産卵シーズンを前に、上陸・産卵記録のある林崎海岸(林崎町3)で3日、市民団体「アカウミガメ保護研究会」が「お掃除会」を開いた。市内の砂浜では、2008年以降、ウミガメの産卵が途絶えている。参加者は期待を込めてゴミを拾い、最後に海に向かって全員で「ウミガメさん、帰ってきて」と叫んだ。(森本尚樹)



市民ら50人 産卵シーズン迎え清掃

市内では人工の砂浜が整備された1986年以降、計18回の上陸が確認されている。上陸時期は6〜8月、上陸地点は藤江・松江地区から魚住地区まで東西に広がる。

同会では、ゴミが上陸などを妨げないよう、10年ほど前から毎年、砂浜の清掃に取り組んでいる。この日も、会員や呼び掛けに応じた市民ら50人が約1時間、砂浜のゴミを集めた。

市によると、ウミガメの上陸・産卵の間隔が5年開くのは、2000〜05年以來という。市は「専門家の話では、ウミガメは近くには来ている。今年こそ期待できる」と話す。

保護研究会のリーダー、坂平高志さん(51)は「例年よりもゴミが少なく、海の水もきれいな気がした。ウミガメを迎える準備はできた」と砂浜を見渡した。

掃除会に初めて参加した衣川中3年の増本瑛誠君(14)は「自分たちも何かできないかと思っただけで参加した。きれいになった砂浜で、ウミガメに卵を産んでほしい」と話していた。

ウミガメの産卵シーズンを前に、砂浜のゴミを拾う参加者＝林崎海岸

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

学校名()

名前()

年

※これは明石版の記事です。「市内」とは、「明石市内」のことです
①明石市内の砂浜では、何年以降に何回、ウミガメが上陸していますか。

②この市民団体ではどんな活動をしていますか。それは何のためですか。

③この記事を読んで、あなたはどう思いましたか。感想を書きましょう。

考えてみよう!

アカウミガメは何に指定されていますか? ほかには指定されているのはどのような動植物でしょうか。調べてみましょう。